

第49回日本薬剤師会学術大会で発表しました

平成28年10月9日(日)・10日(月・祝)の2日間、名古屋国際会議場、名古屋学院大学において第49回日本薬剤師会学術大会が開催された。

『真のセルフメディケーション(SM)支援薬局を目指して(第2報)—地域包括ケアシステム構築に向けた他職種連携の試み—』としてポスター発表にて参加して来たので報告致します。

第一報では望ましい薬局の姿をかかげ、今回は村田町との連携による地域での試みの発表を行った。今話題となっている「かかりつけ」、「健康サポート薬局」をも考える題材であった事で、参加者からは他職種との連携のとり方、連携の中で薬局薬剤師の関与について質問を受けた。地域を通してアピールする機会がないなどの声も出ていた。

今後のセルフメディケーションを行うには良い提案であり、声をかけて下さった方々へのアピールできたのではないかと考える。間違った認識や選択をしなかったための啓蒙活動も薬剤師の大事な役目であるため、地域のイベントへの参加を積極的に行いたいという声があったことは発表の成果であると感じた。

(櫻井裕子)

